



笑顔いっぱい かがやく入谷っ子

読書旬間

本校では、10月12日(水)から28日(金)まで読書旬間を設定しています。読書旬間は本に親しみ、読書の世界を広げていくこと、読書を通し、豊かな心を育むことを目標としています。

読書をすることは、例えば物語であれば、登場人物の気持ちに触れ、ときどきしたり、わくわくしたり、悲しくなったり、嬉しくなったりと、心が動かされることに繋がっていきます。本の世界を通して、様々なことについて想像を広げ、日常の生活の中では経験できないことを味わっていくことができます。読書を通して心が動かされるのが、豊かな心を育むことに繋がっていくと考えます。

「子どもの読書活動推進に関する法律」第2条においても、「子どもの読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め創造力を豊かなものに、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないもの」と明記されています。このことから、子供たちの読書活動を推進していくことは、必要なことであると考えています。

読書の普及のために、子供たちが本に触れるきっかけづくりの一つとして、国語の時間に学習する作品と同じ作者の本を手にとったり、国語以外の学習との繋がりのある本を手にとったりできるようにと、図書館司書の力をかりながら、各学年に合わせて読書環境を整えています。また、読書旬間には、図書委員会の子供たちが、1・2年生の子供たちへ読み聞かせを行うよう準備を進めています。教職員がお薦めする本を紹介するコーナーも図

書室に掲示しています。

私は、太宰治の「走れメロス」を紹介しました。この本は、小学校4年生の時に読んだ本ですが、大きな感動を受けたことを今でも覚えています。人は誰でも、弱い面や強い面両面もっていること、人間の奥底にある美しさに触れることができた時に、初めて人は変わることができるということに対して、子供ながら心に迫るものがありました。

ぜひ、御家庭でも、読書をして、どんな本がお薦めなのか、話し合う時間を取っていただけたらと思います。

読み聞かせのボランティアの方々には、年間を通して、様々な本を選定して、子供たちのためにたくさんのお時間をいただいていることを感謝しております。今後とも、お力添えのほどよろしくお願い申し上げます。

修学旅行オリエンテーション

10月7日(金)に、学年が一同に集まり、10月16日(日)・17日(月)に予定している修学旅行に向けてのオリエンテーションを行いました。

感謝の思いを修学旅行の活動の根底に据えながら温かいものにみんなで創り上げていくこと、みんなで・みんなが楽しめる修学旅行にしていくことを確認し合いました。学年児童会から、「最後なら笑顔で終わろう 修学旅行」という学年目標とともに、各クラスの目標を唱えました。「個性 大爆発」(1組)・「BIG SMILE」(2組)・「POWER」(3組)。担任団も含めた、学年の子供たちとの強い繋がりの中で、みんなの気持ちが一つになって進んでいこうとする姿が素晴らしかったです。